

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度 伊勢湾航行影響検討業務
業務概要	本業務は、中部国際空港沖公有水面埋立事業が周辺海域の航行安全に及ぼす影響について検討を行うとともに、その対応策について、学識経験者・海事関係者等からなる委員会を設置し、検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 名古屋港湾事務所長 藤田 亨 愛知県名古屋市港区築地町2番地
契約年月日	令和3年4月6日
契約業者名	公益社団法人伊勢湾海難防止協会
契約業者の住所	名古屋市港区西倉町1番54号
契約金額(税込)	¥16,500,000.-
予定価格(税込)	¥16,830,000.-
随意契約による こととした理由	別紙のとおり
業務場所	-
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間(自)	令和3年4月6日
履行期間(至)	令和3年9月30日
備考	

随意契約理由書

1. 業務件名 令和3年度 伊勢湾航行影響検討業務

2. 契約相手 公益社団法人伊勢湾海難防止協会

名古屋市港区西倉町1番54号

3. 隨意契約によることとした理由 本業務は、中部国際空港沖公有水面埋立事業が周辺海域の航行安全に及ぼす影響について検討を行うとともに、その対応策について、学識経験者・海事関係者等からなる委員会を設置し、検討を行うものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の中で資格を満たした者（注から技術提案書を求め、「担当技術者の経験能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行なった。

審査の結果、総合的に最も評価値が高位である伊勢湾海難防止協会を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により伊勢湾海難防止協会と随意契約するものである。

4. 摘要条文 会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3項

プロポーザル評価表

1. 件 名 令和3年度 伊勢湾航行影響検討業務

2. 所属事務所 名古屋港湾事務所

3. 技術提案書の特定通知日 令和3年3月31日

業者名	技術評価点の内訳			技術評価点合計	備考	摘要
	予定管理技術者の経験及び能力	実施方針・実施フロー・工程表・その他	特定テーマに対する技術提案			
評価のウェート	80	80	160	320		
公益社団法人伊勢湾海難防止協会	54.00	50.67	96.00	200.67		特定